

栗田工業株式会社

2012年3月期 決算説明会

(証券コード: 6370)

2012年5月2日



I. 2012年3月期実績



II. 2013年3月期計画



III. 前中期経営計画「MP-11」の振り返り



IV. 新中期経営計画「TA-14」の概要



V. 参考資料

2012年3月期実績

【 1 】 業績ハイライト

【 2 】 受注高・売上高・営業利益・営業利益率

【 3 】 水処理薬品事業

【 4 】 水処理装置事業（電子産業向け）

【 5 】 水処理装置事業（一般産業向け）

【 6 】 財政状態

【1】 業績ハイライト

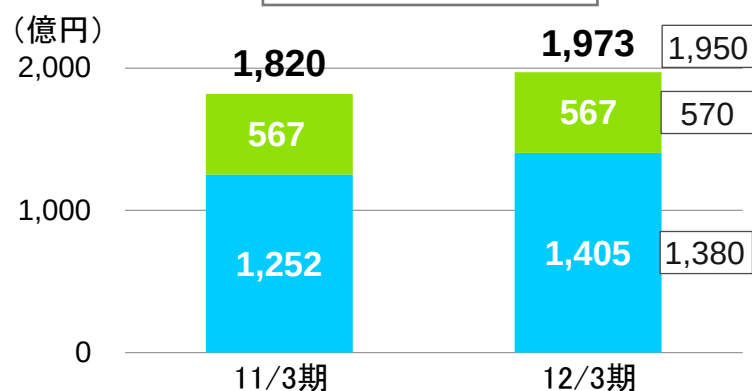
(億円)

	2011/3期	2012/3期	対前期比	期初計画
受 注 高	1,820	1,973	+ 8.4%	1,950
売 上 高	1,812	1,938	+ 6.9%	1,920
営 業 利 益	271	294	+ 8.3%	290
経 常 利 益	282	304	+ 7.9%	295
当 期 純 利 益	171	165	- 3.4%	174

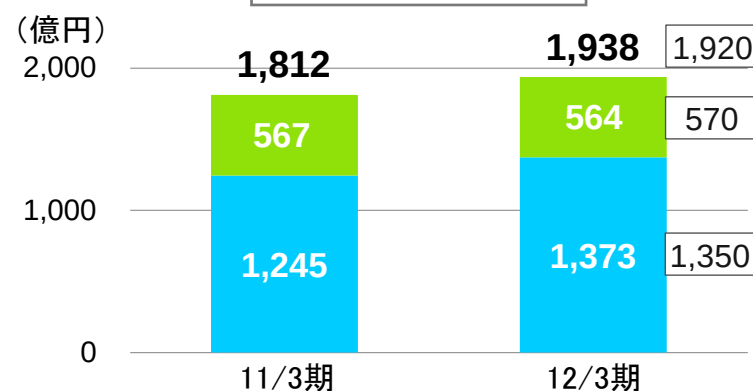
【2】 受注高・売上高・営業利益・営業利益率

水処理薬品事業
 水処理装置事業
 全社
 * 内は期初計画

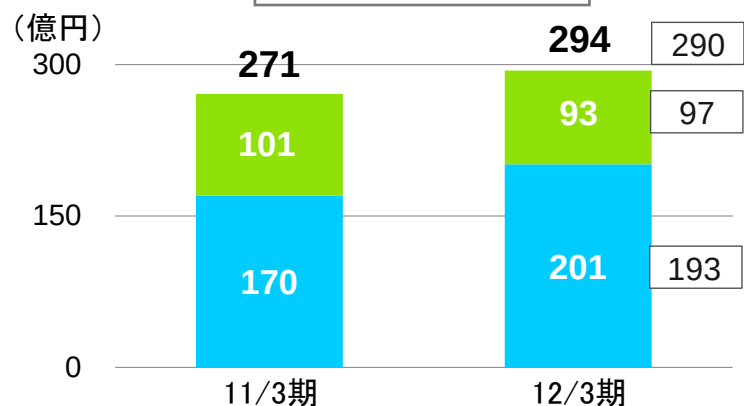
受 注 高



売 上 高



営 業 利 益



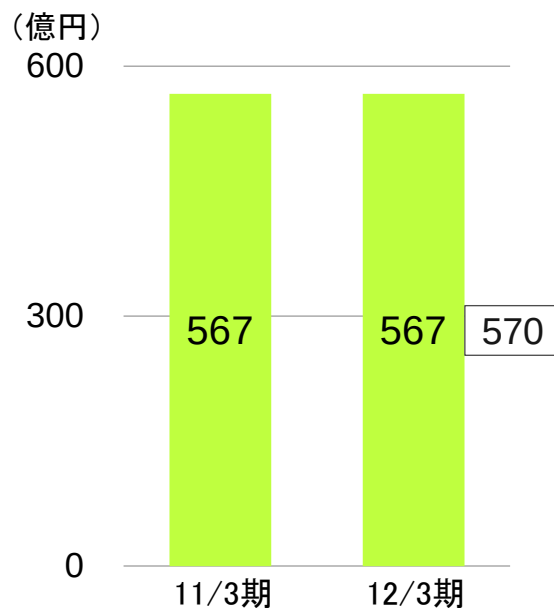
営 業 利 益 率



【3】 水処理薬品事業

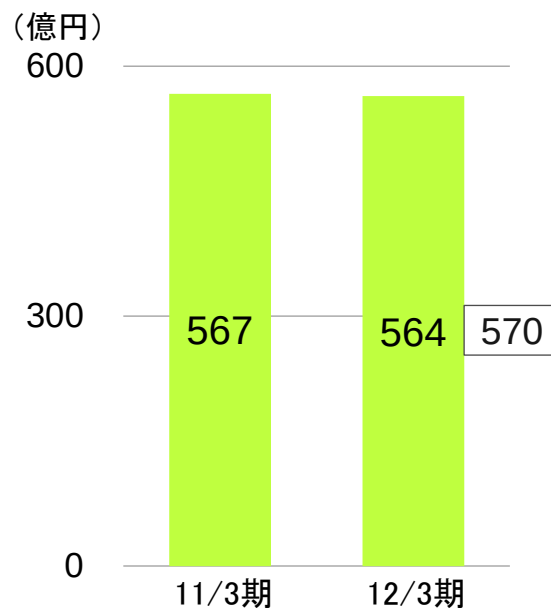
受 注 高

* □ 内は期初計画



売 上 高

* □ 内は期初計画



【受注高・売上高の主な増減分野】

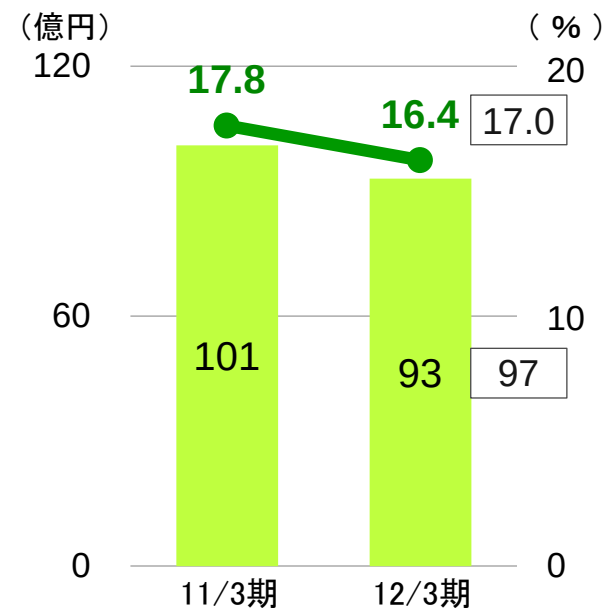
- 国内：主力商品が減少 (-)
- 海外：アジア、欧州などが伸長 (+)

営業利益・営業利益率

営業利益

営業利益率

* □ 内は期初計画



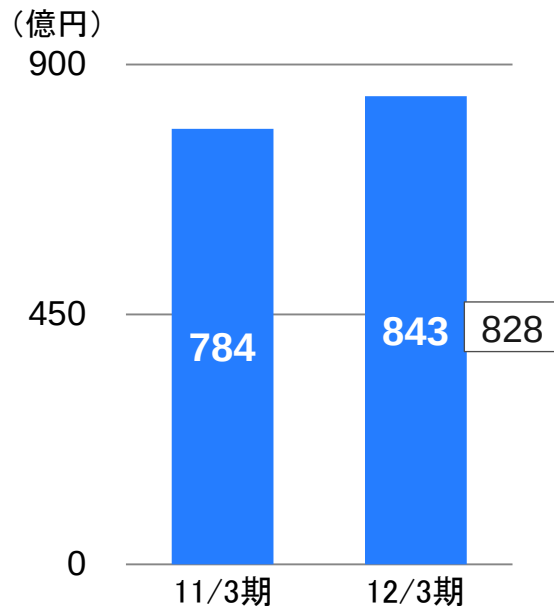
【主な増減要因】

- 販管費の増加 (-)
- 原材料価格の上昇 (-)
- 減収の影響 (-)

【4】 水処理装置事業（電子産業向け）

受 注 高

* □ 内は修正計画

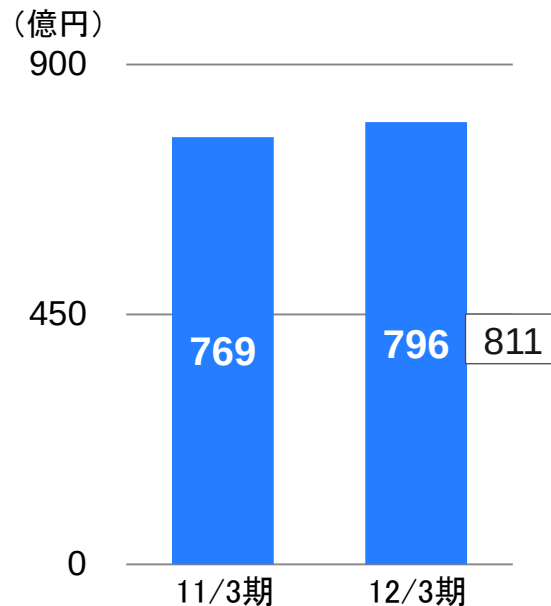


【主な増減分野】

- 海外ハードの増加 (+)
- 国内メンテナンスの増加 (+)
- 国内ハードの減少 (-)

売 上 高

* □ 内は修正計画



【主な増減分野】

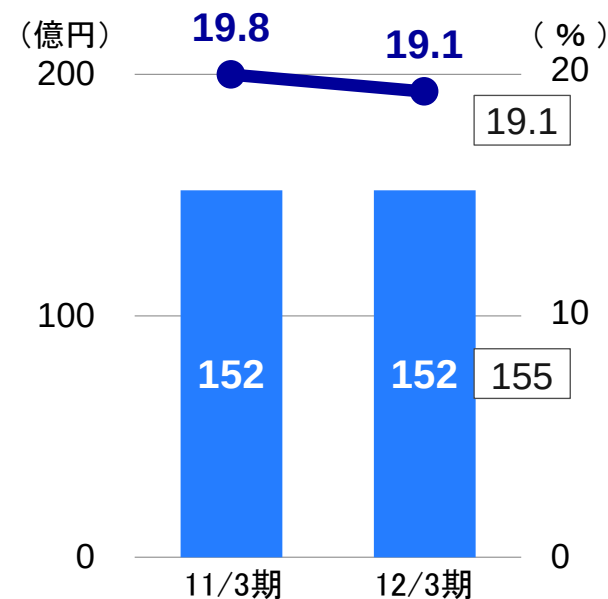
- 海外ハードの増加 (+)
- 国内メンテナンスの増加 (+)

営業利益・営業利益率

営業利益

営業利益率

* □ 内は修正計画



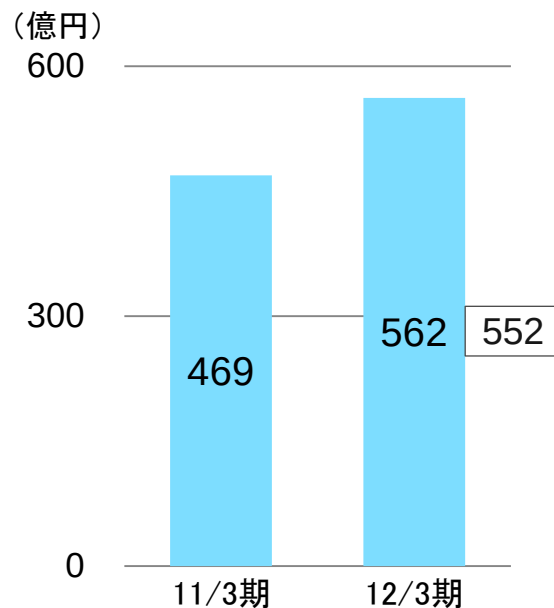
【主な増減要因】

- 増収効果 (+)
- 売上構成の変化 (-)
- 販管費の増加 (-)

【5】 水処理装置事業（一般産業向け）

受 注 高

* □ 内は修正計画

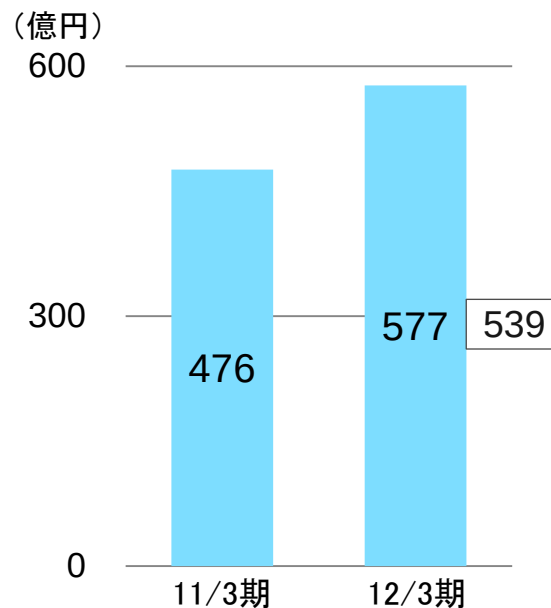


【主な増減分野】

- 電力向けの増加 (+)
- メンテナンスの増加 (+)

売 上 高

* □ 内は修正計画

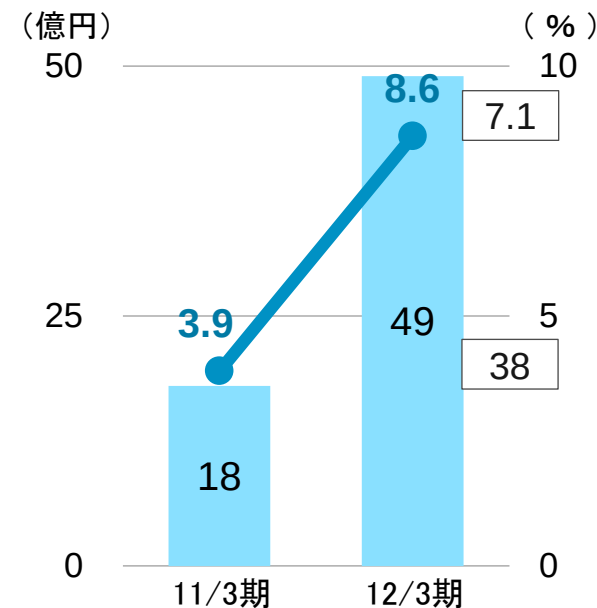


【主な増減分野】

- 電力向けの増加 (+)
- メンテナンスの増加 (+)

営業利益・営業利益率

営業利益 営業利益率
* □ 内は修正計画



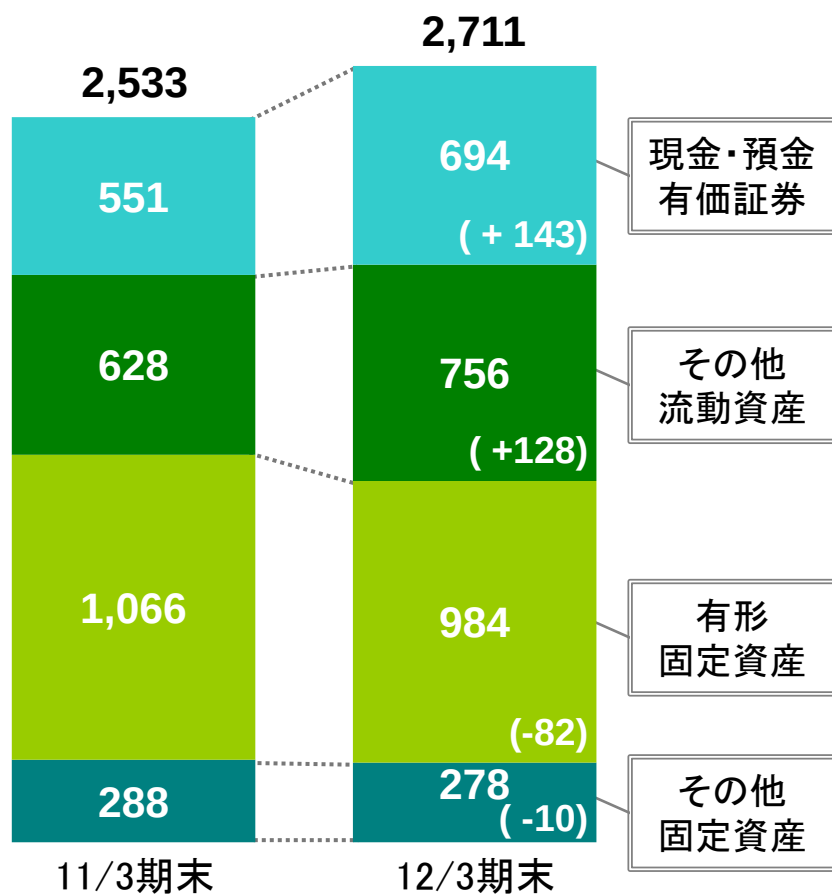
【主な増減要因】

- 増収効果 (+)

【6】 財政状態

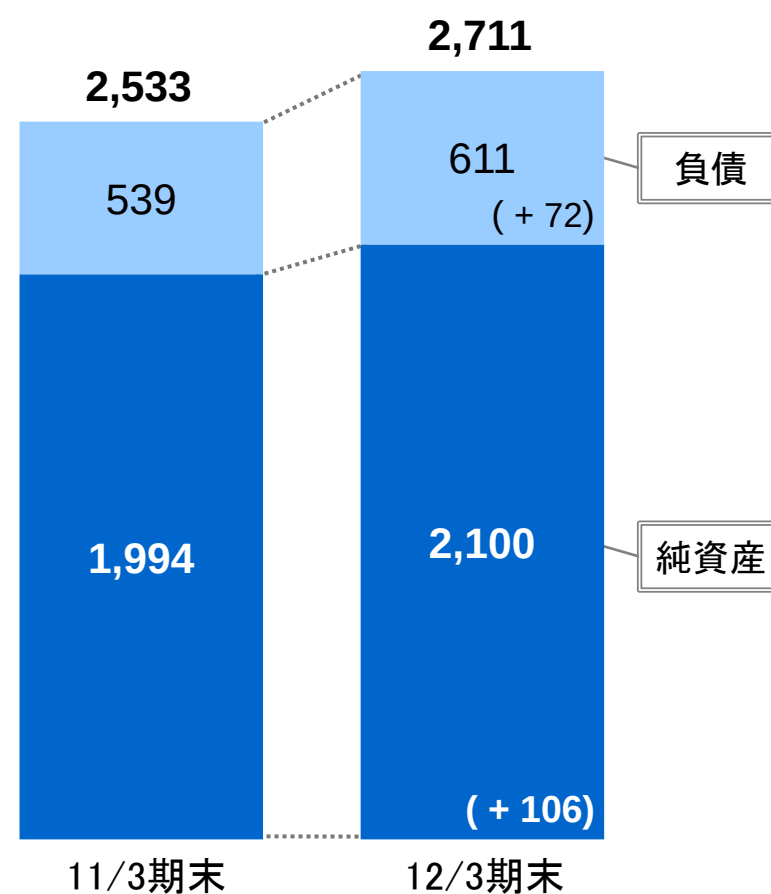
資 産

(億円)



負債・純資産

(億円)



2013年3月期計画

- 【 1 】 前提条件
- 【 2 】 総括
- 【 3 】 受注高・売上高・営業利益・営業利益率
- 【 4 】 水処理薬品事業
- 【 5 】 水処理装置事業（電子産業向け）
- 【 6 】 水処理装置事業（一般産業向け）
- 【 7 】 サービス事業売上高内訳
- 【 8 】 海外事業（地域別・事業別売上高）
- 【 9 】 超純水供給事業
- 【10】 設備投資・減価償却費・研究開発費
- 【11】 利益配分方針

【1】 前提条件

水処理薬品事業



- アジア・新興国の堅調な需要の持続
- 国内顧客操業度は震災前の水準にほぼ戻っているが、
今後は概ね横ばい
- 原材料価格の上昇懸念

水処理装置事業



- 半導体・液晶の設備投資は製品・顧客によりばらつき
- 一般産業の設備投資は概ね横ばい
- 国内電力向けに震災復旧需要の一巡

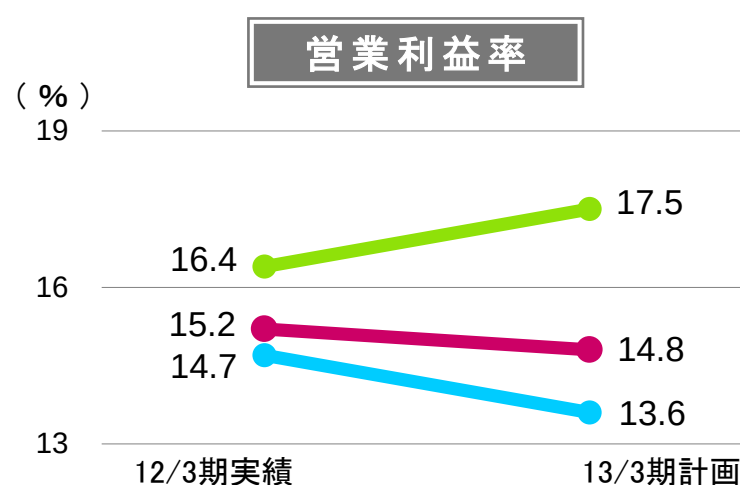
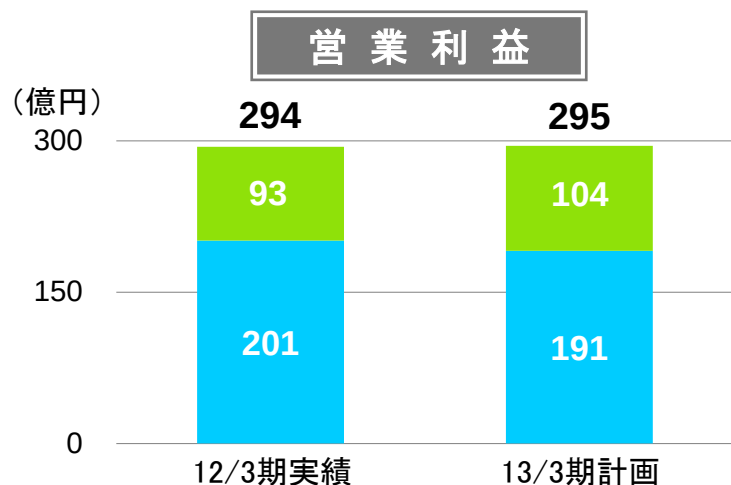
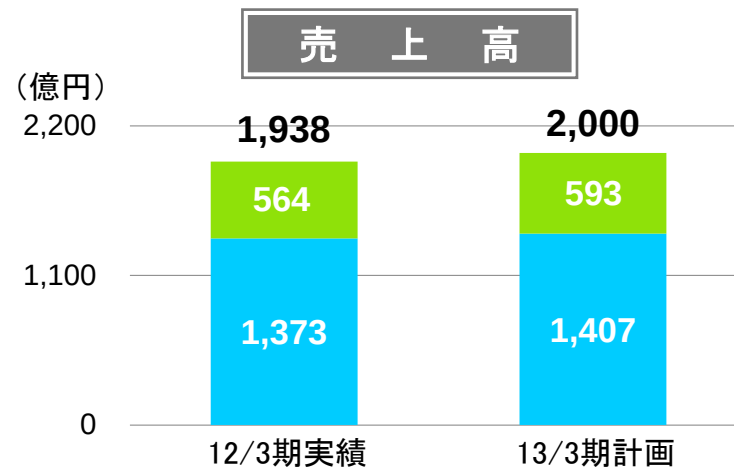
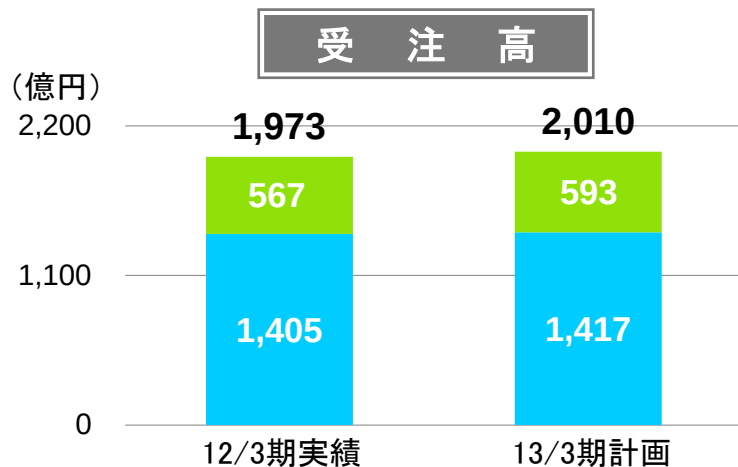
【2】 総括

(億円)

	2012/3期 実績	2013/3期 計画	対前期比
受 注 高	1,973	2,010	+ 1.9%
売 上 高	1,938	2,000	+ 3.2%
営 業 利 益	294	295	+ 0.4%
経 常 利 益	304	300	- 1.2%
当 期 純 利 益	165	175	+ 5.8%

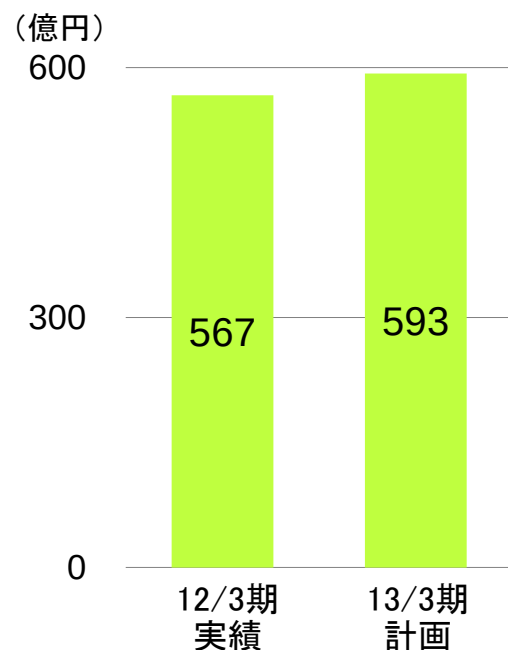
【3】 受注高・売上高・営業利益・営業利益率

■ 水処理薬品事業
 ■ 水処理装置事業
 ● 全社

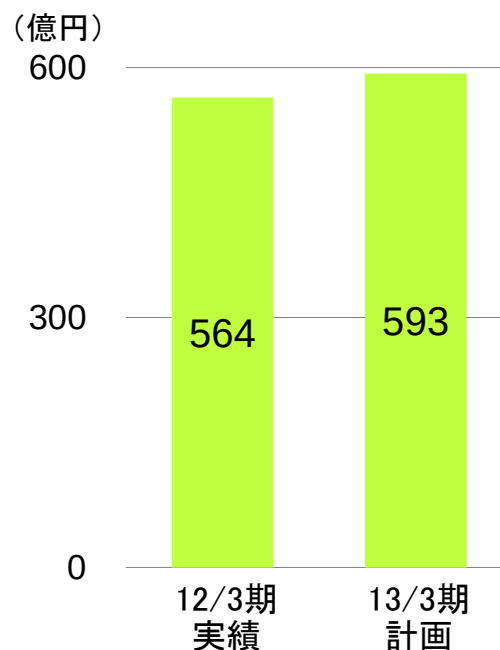


【4】 水処理薬品事業

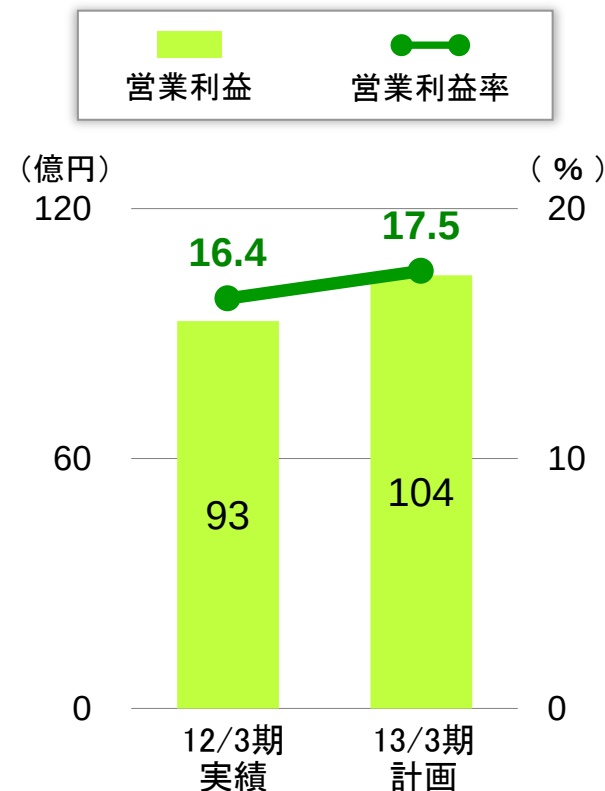
受 注 高



売 上 高



営業利益・営業利益率



【受注高・売上高の主な増減分野】

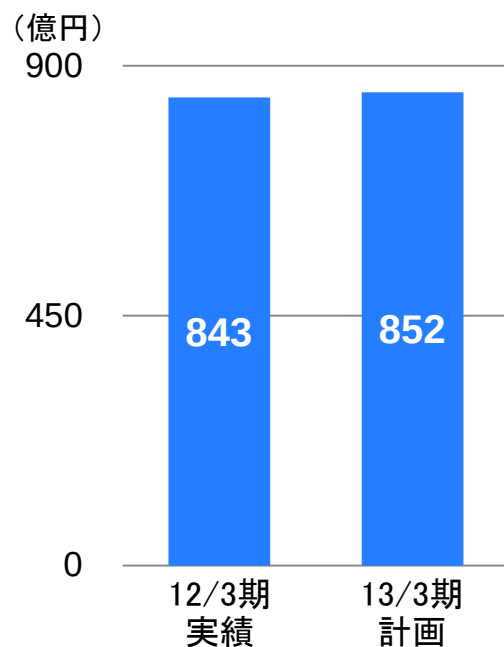
- 国内:顧客操業度が回復(+)
- 海外:アジア中心に需要拡大(+)

【主な増減要因】

- 増収効果(+)
- 販管費の増加(-)
- 原材料価格の上昇(-)

【5】 水処理装置事業（電子産業向け）

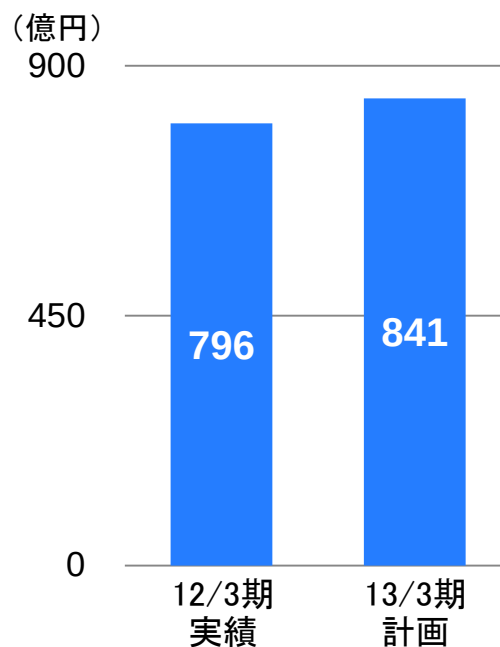
受 注 高



【主な増減分野】

- 国内メンテナンスの増加 (+)
- 超純水供給事業の減少 (-)

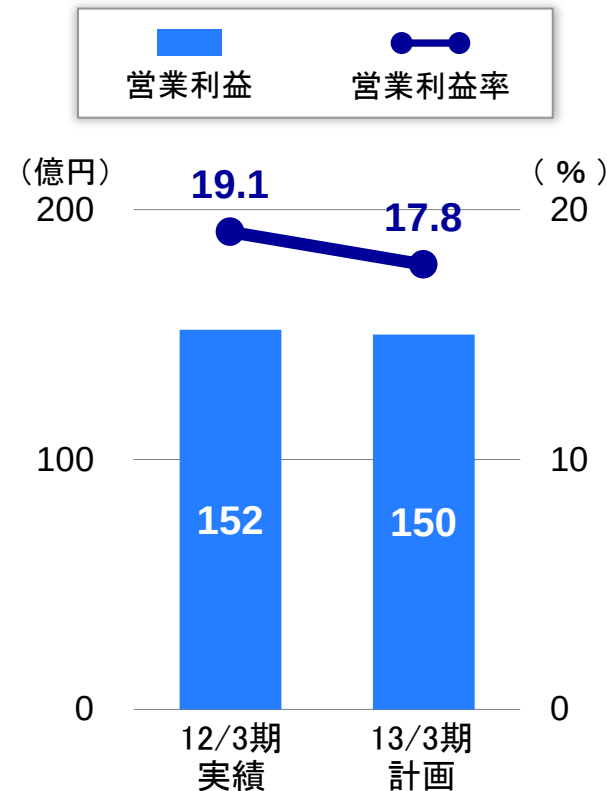
売 上 高



【主な増減分野】

- 海外ハードの増加 (+)
- 国内メンテナンスの増加 (+)
- 超純水供給事業の減少 (-)

営業利益・営業利益率

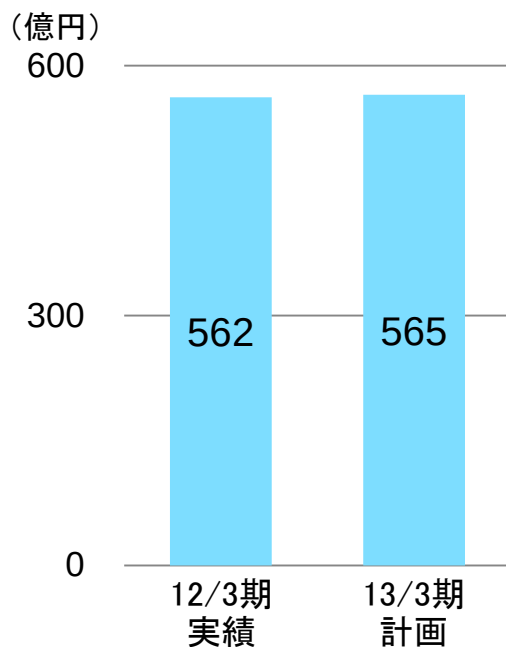


【主な増減要因】

- 増収効果 (+)
- 売上構成の変化 (-)
- 販管費の増加 (-)

【6】 水処理装置事業（一般産業向け）

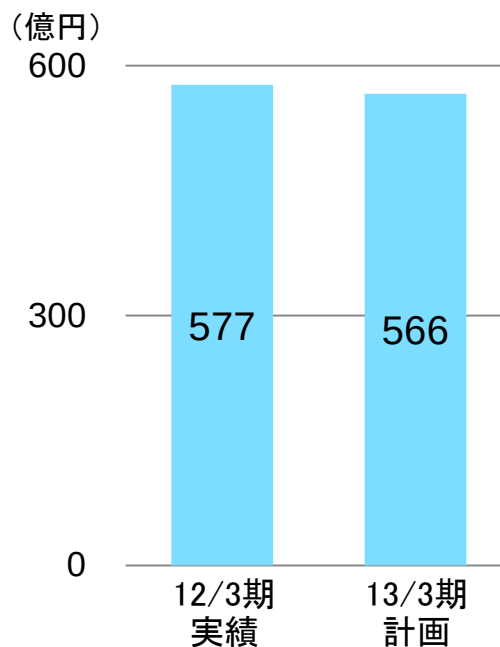
受 注 高



【主な増減分野】

- メンテナンスの増加 (+)
- 電力向けの減少 (-)

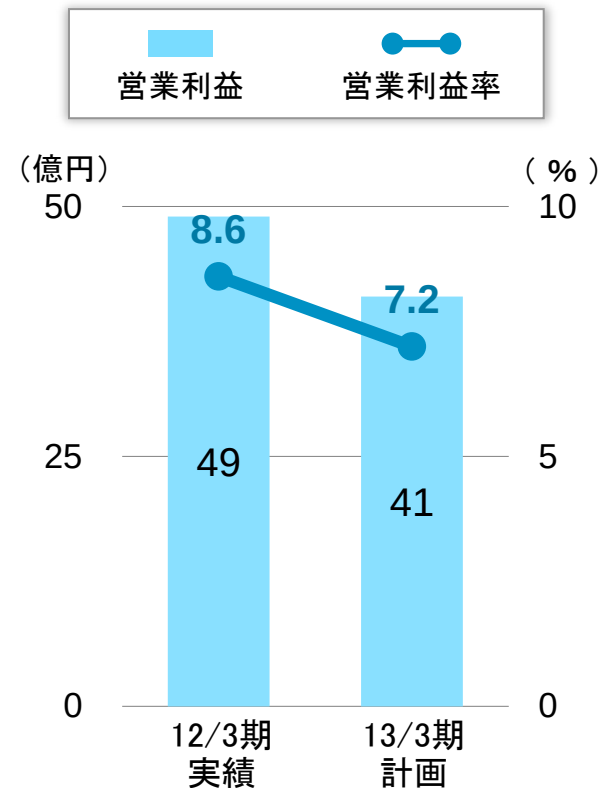
売 上 高



【主な増減分野】

- メンテナンスの増加 (+)
- 電力向けの減少 (-)

営業利益・営業利益率



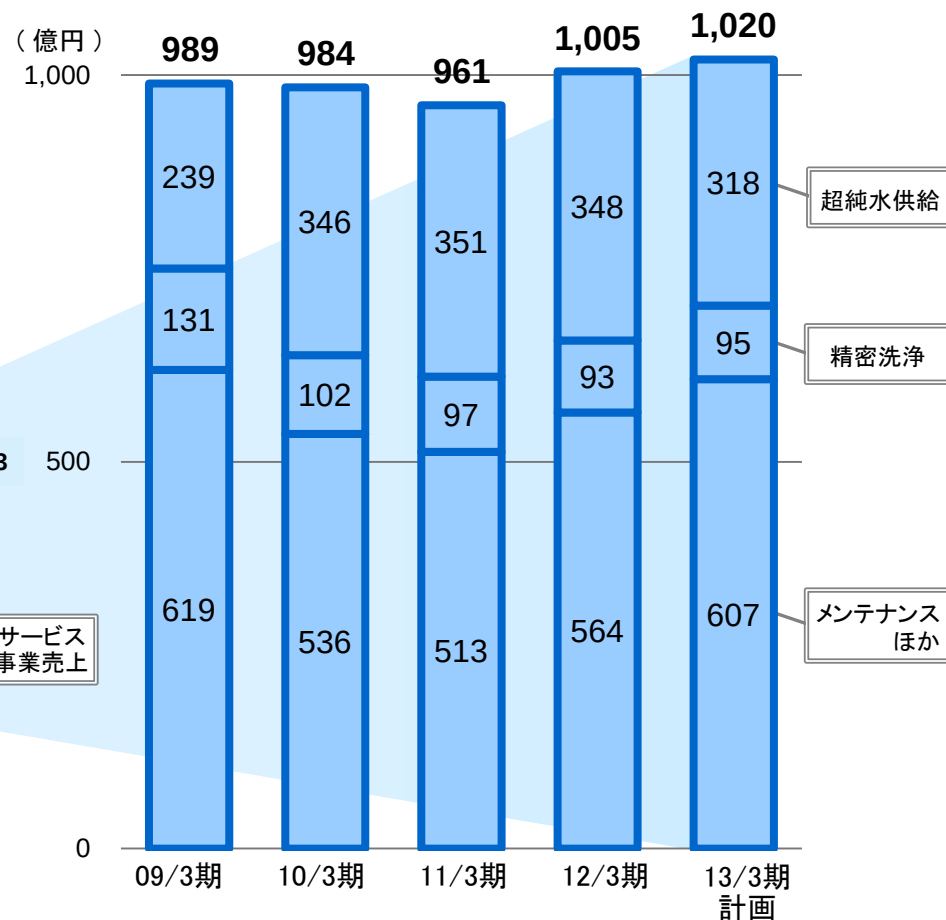
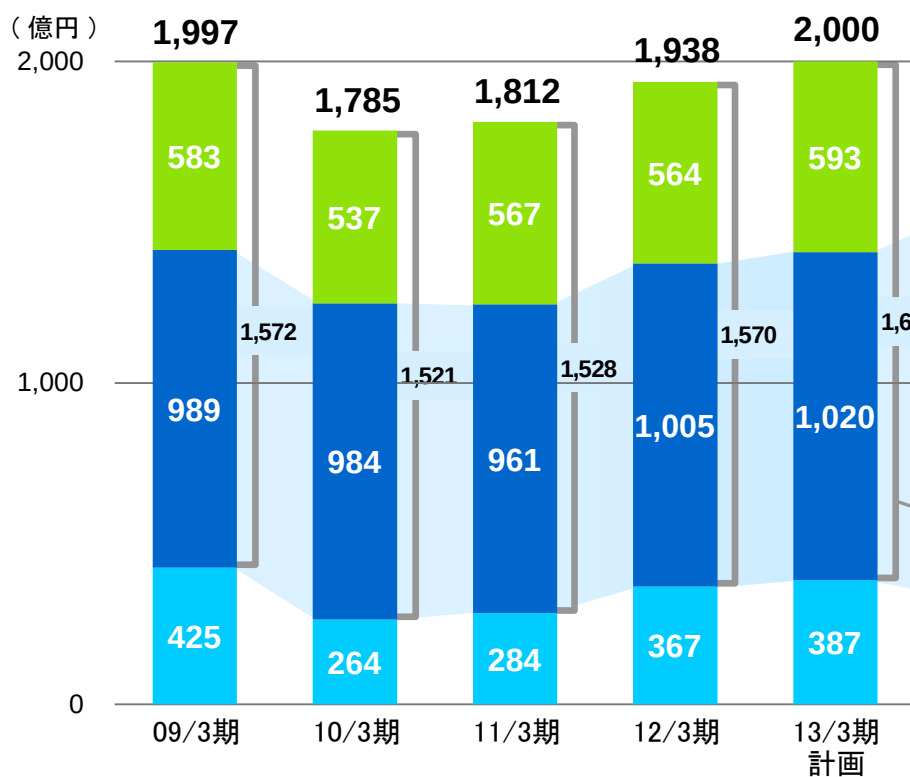
【主な増減要因】

- 減収の影響 (-)
- 販管費の増加 (-)

【7】 サービス事業売上高内訳

- 水処理薬品事業
- 水処理装置事業(サービス)
- 水処理装置事業(ハード)

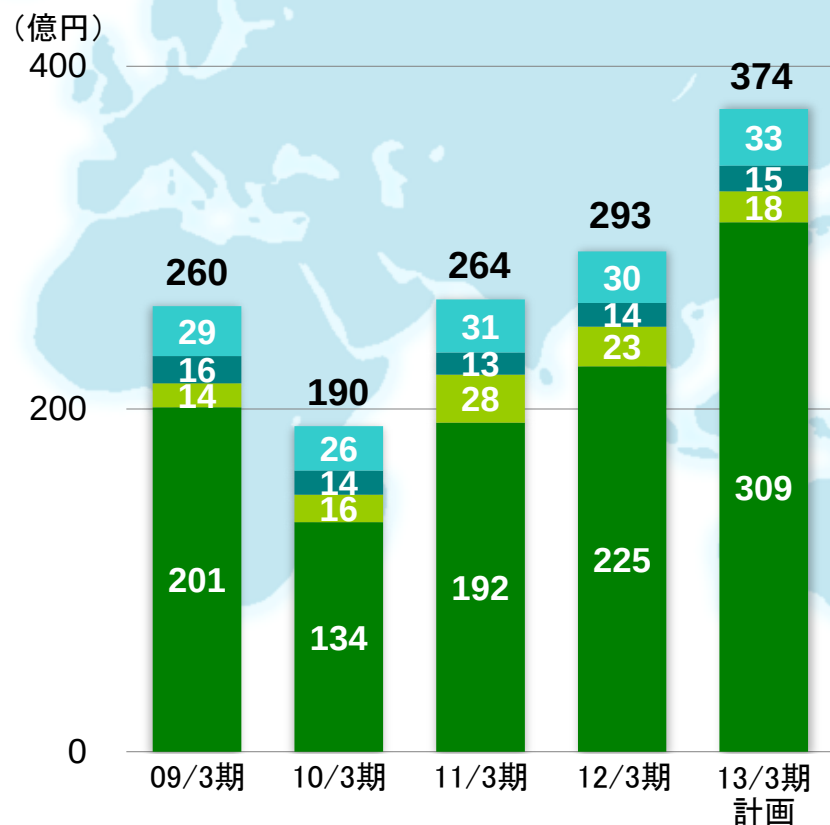
装置事業中のサービス事業売上高内訳



【8】 海外事業（地域別・事業別売上高）

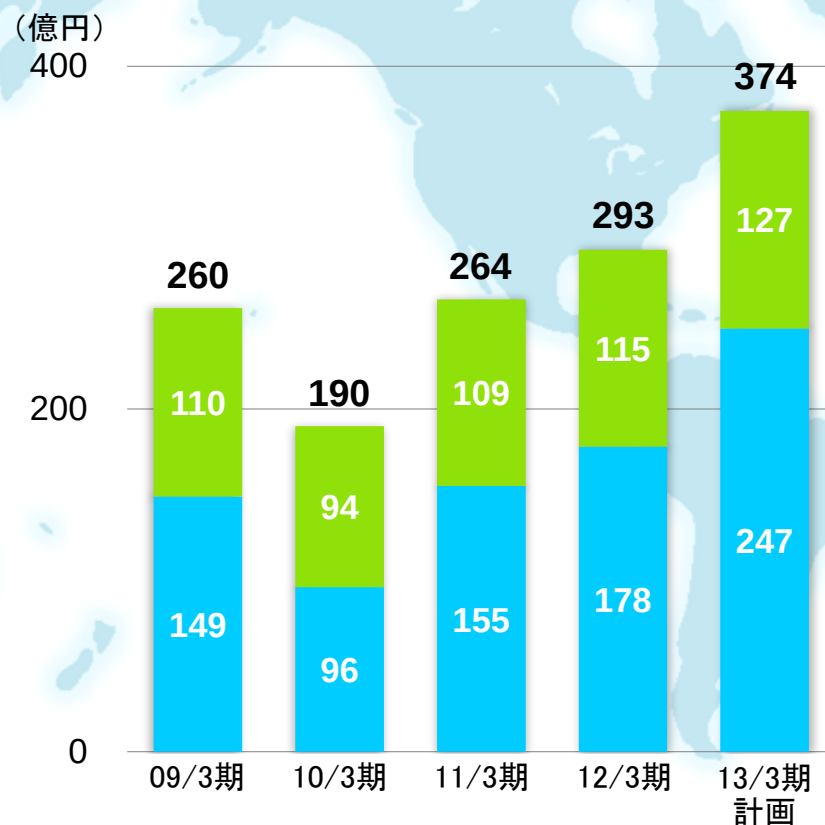
海外地域別売上高

■ アジア
 ■ 北米
 ■ 欧州
 ■ その他



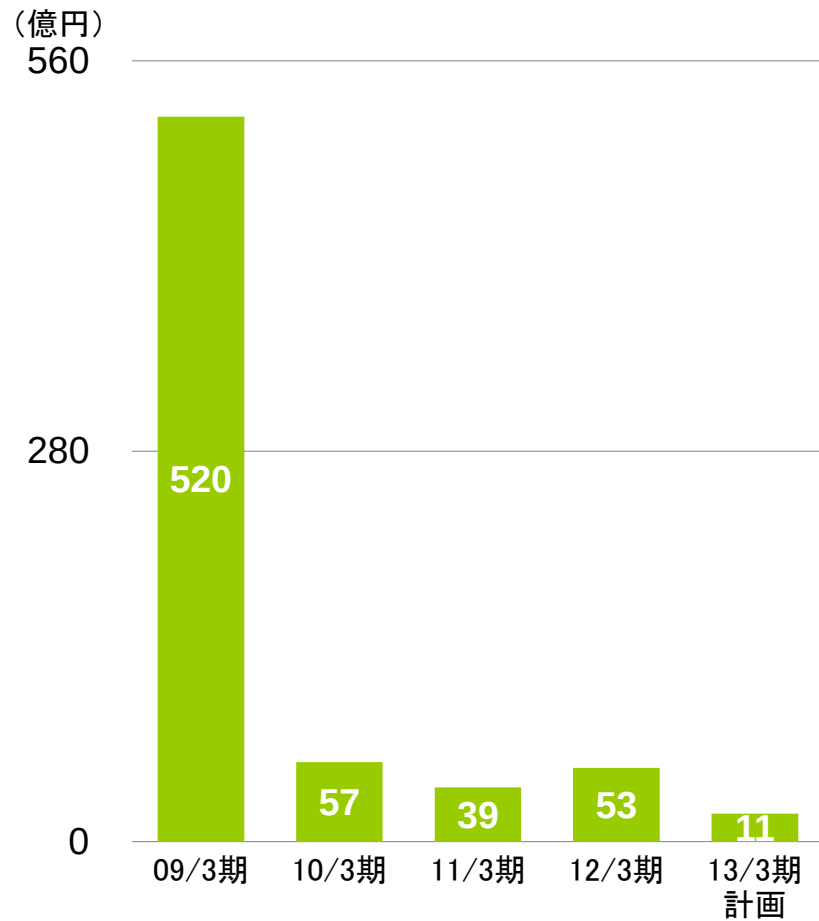
海外事業別売上高

■ 水処理薬品事業
 ■ 水処理装置事業

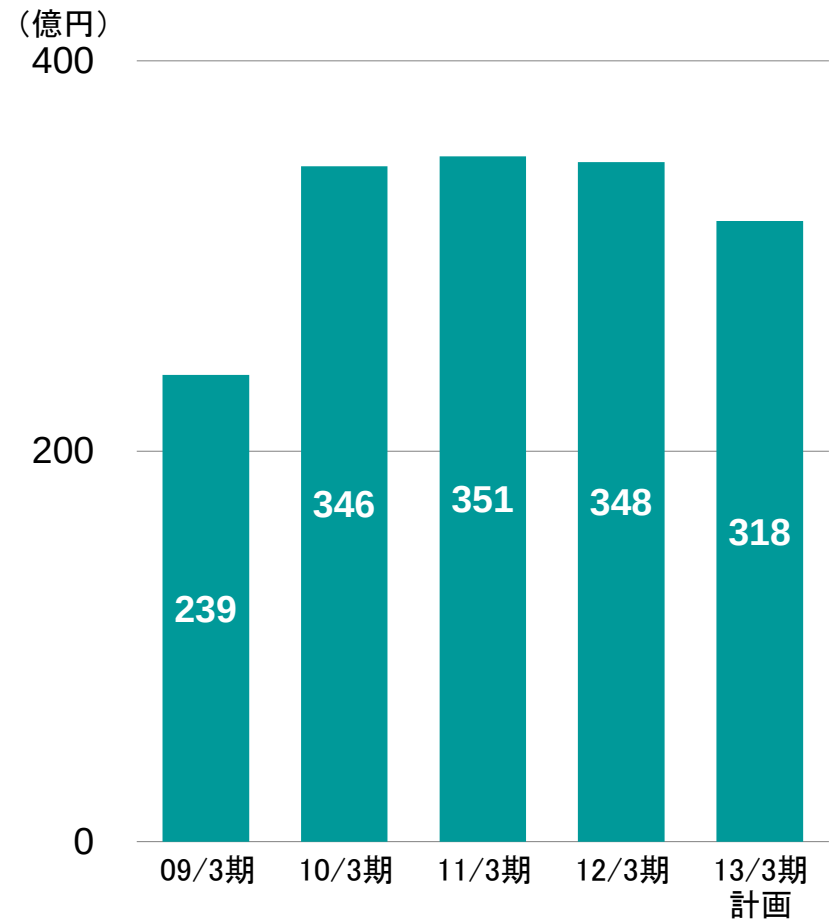


【9】 超純水供給事業

設備投資額

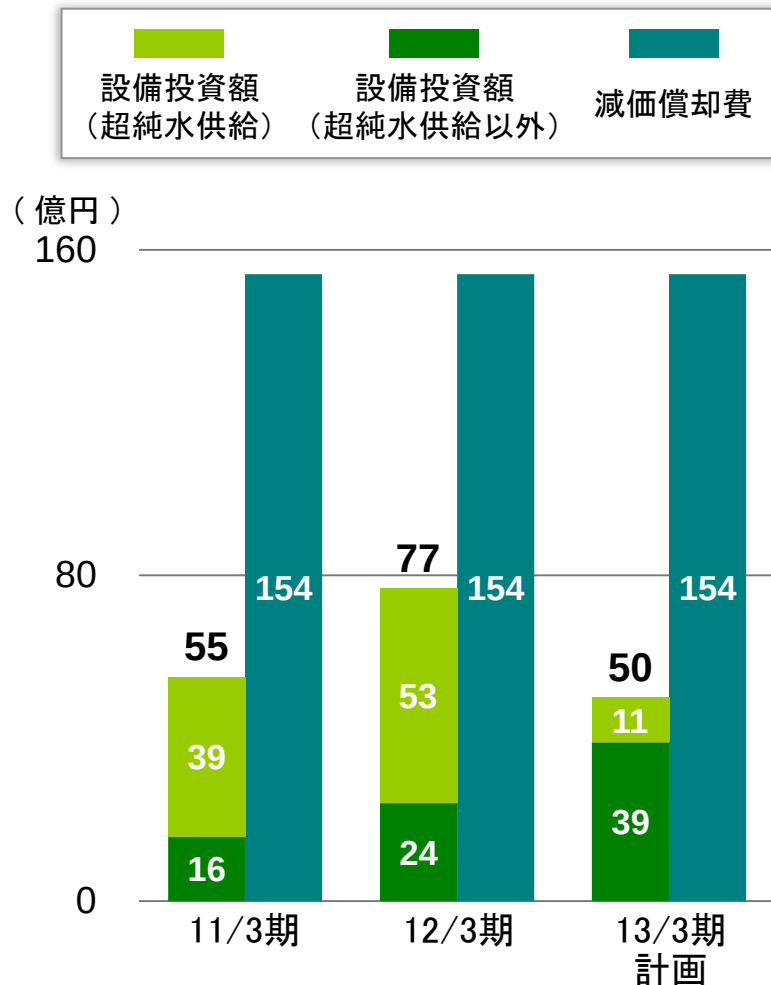


売上高

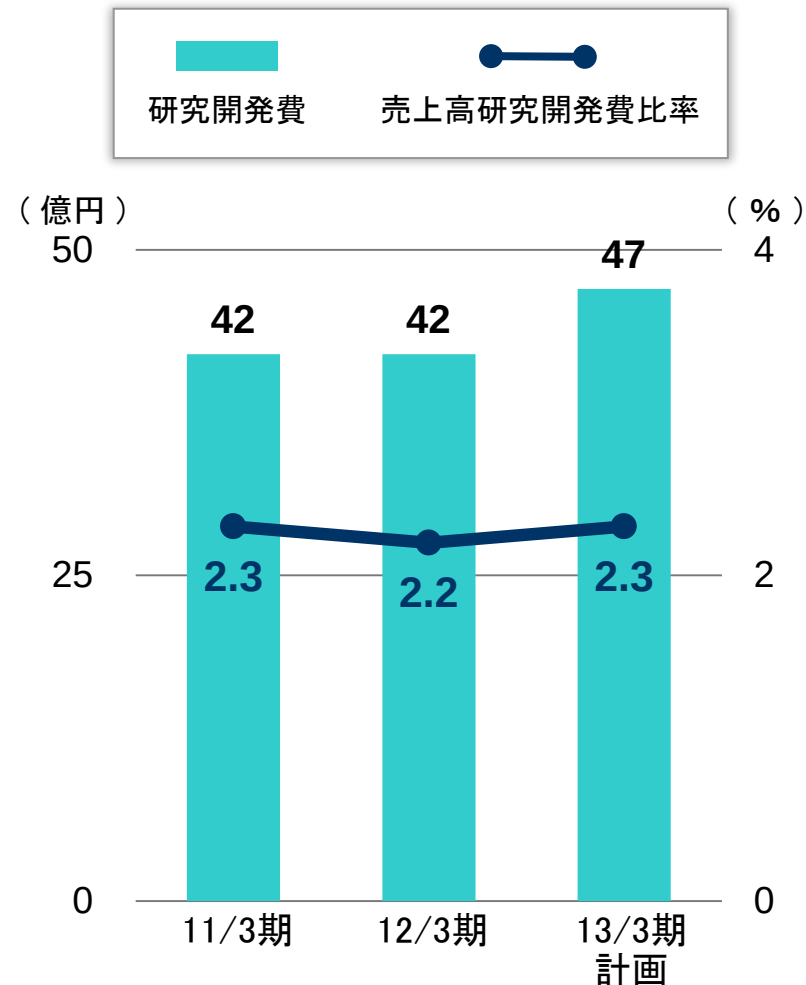


【10】 設備投資・減価償却費・研究開発費

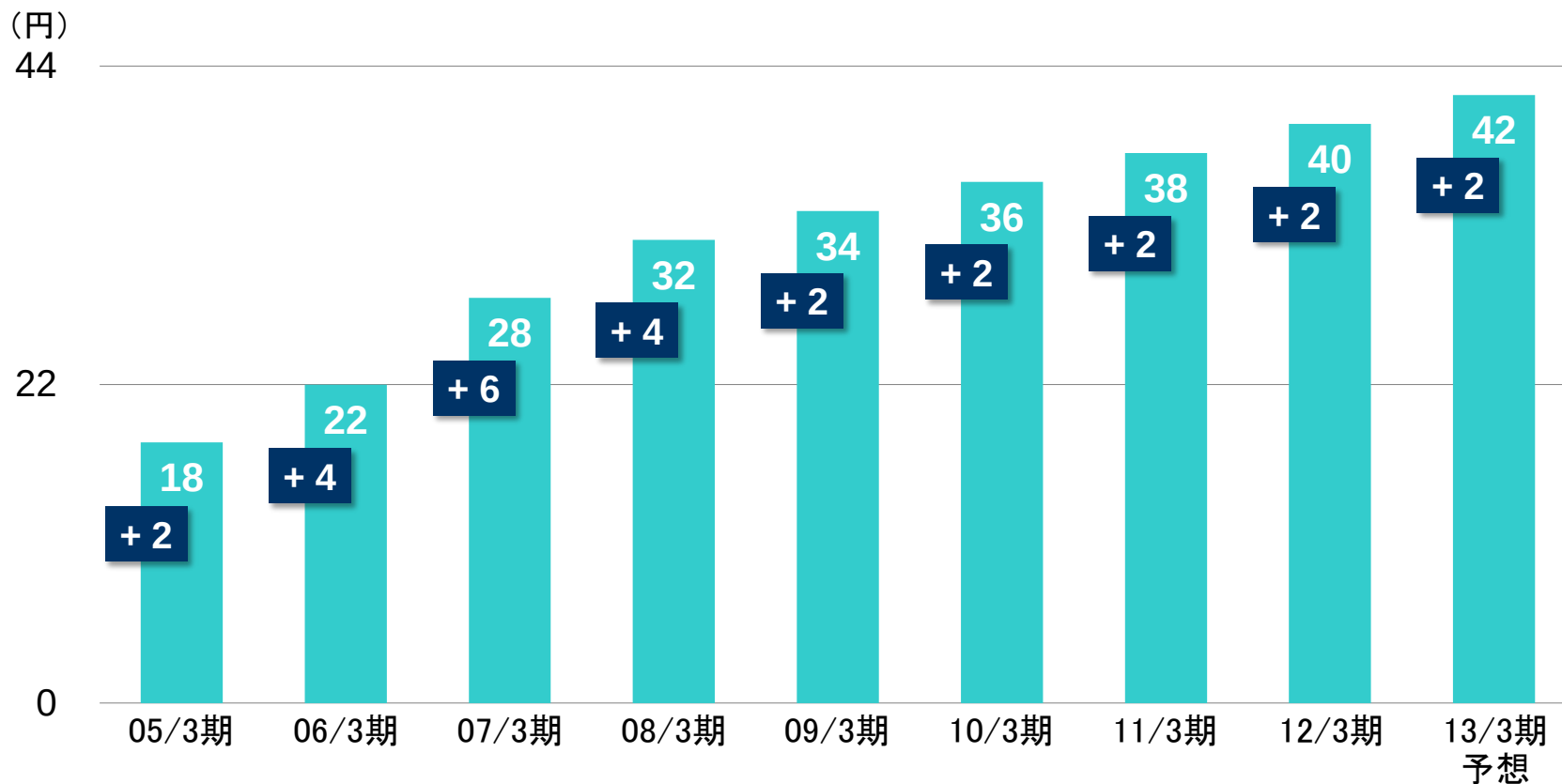
設備投資・減価償却費



研究開発費



【11】 利益配分方針



【 利益配分に関する基本方針 】

安定配当の継続を基本方針とし、業績の推移および事業への投資を勘案のうえ、配当の増額に努めてまいります。

前中期経営計画「MP-11」の振り返り

- 【 1 】 業績目標と業績推移
- 【 2 】 セグメント別実績
- 【 3 】 成果と課題①：サービス事業の拡大・進化
- 【 4 】 成果と課題②：グローバル事業の拡大
- 【 5 】 実施施策：グローバル事業の拡大
- 【 6 】 成果：新たな事業領域の創出・拡大

【1】業績目標と業績推移

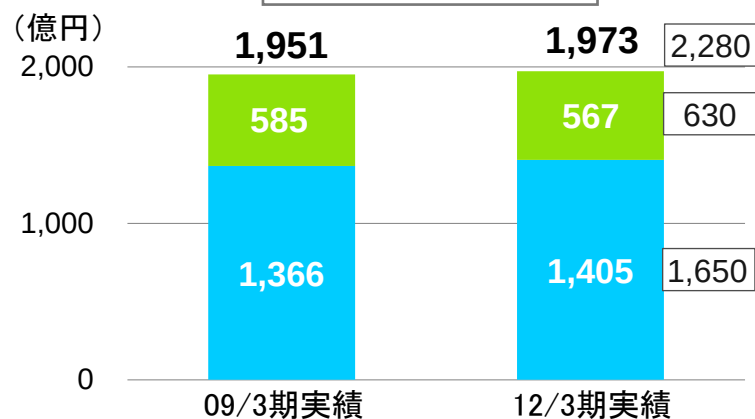
	MP11				(億円)
	2009/3期 実績	2010/3期 実績	2011/3期 実績	2012/3期 実績	MP11 2012/3期 当初目標
受 注 高	1,951	1,752	1,820	1,973	2,280
売 上 高	1,997	1,785	1,812	1,938	2,240
営 業 利 益	279	264	271	294	360
経 常 利 益	289	271	282	304	363
当 期 純 利 益	163	173	171	165	206
海 外 売 上 高	260	190	264	293	320
海外売上高比率	13.0%	10.6%	14.5%	15.1%	14.3%

- リーマンショック前の水準を超えることができず、事業規模拡大・持続的成長の実現に課題を残した。
- 国内サービス事業中心の収益拡大を目指したが、事業環境の影響を受けた。
- 海外売上も伸長したが、海外比率は15%にとどまった。

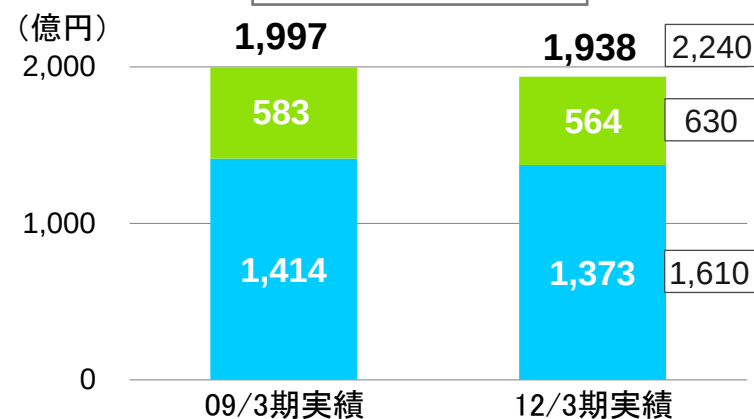
【2】セグメント別実績

■ 水処理薬品事業
 ■ 水処理装置事業
 ● 全社
 * □ 内は当初計画

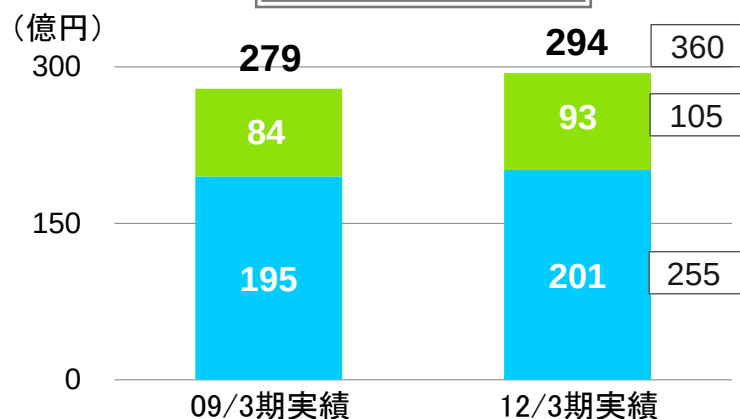
受 注 高



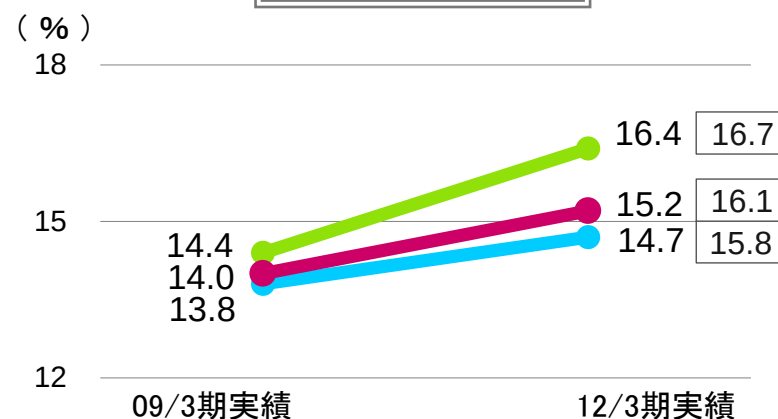
売 上 高



営 業 利 益



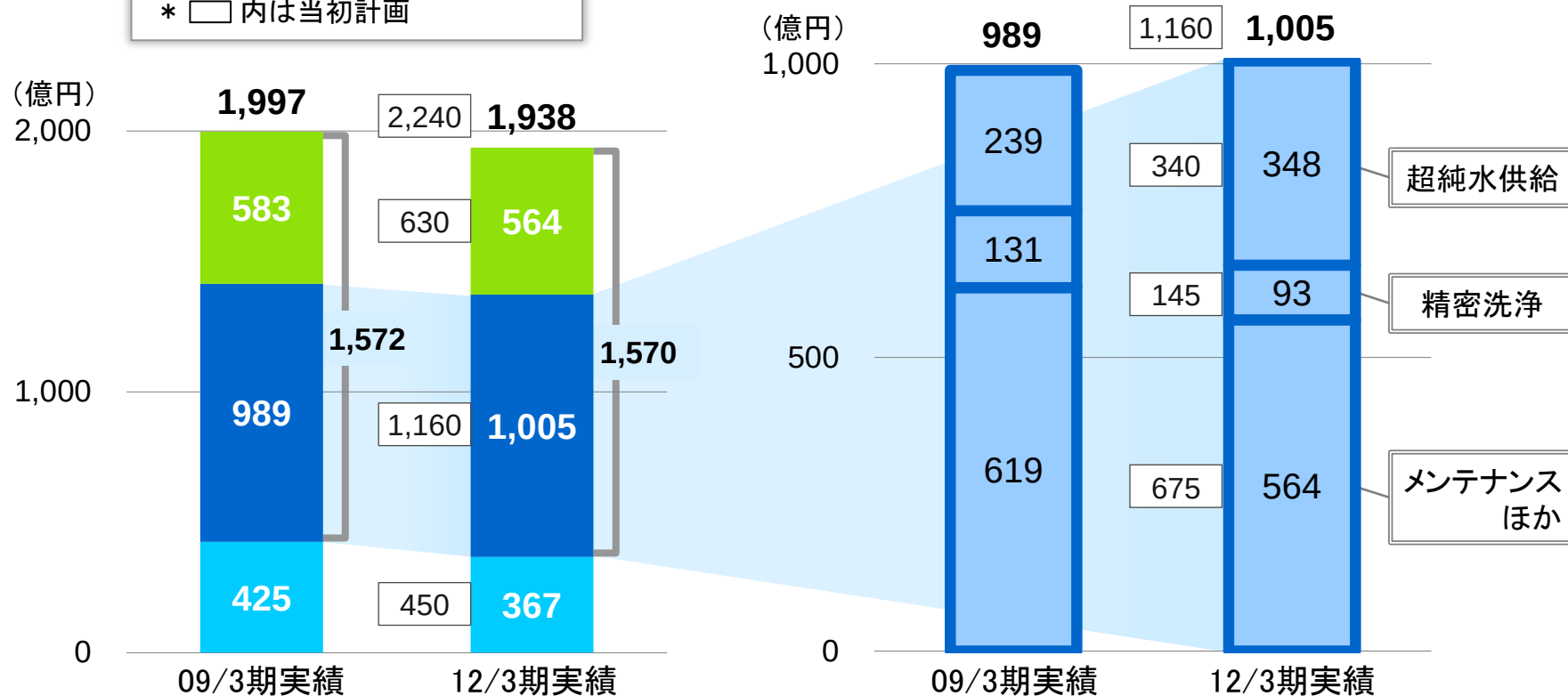
営 業 利 益 率



【3】 成果と課題①「サービス事業の拡大・進化」

■ 水処理薬品事業
■ 水処理装置事業（サービス）
■ 水処理装置事業（ハード）
 * □ 内は当初計画

装置事業中のサービス事業売上高内訳



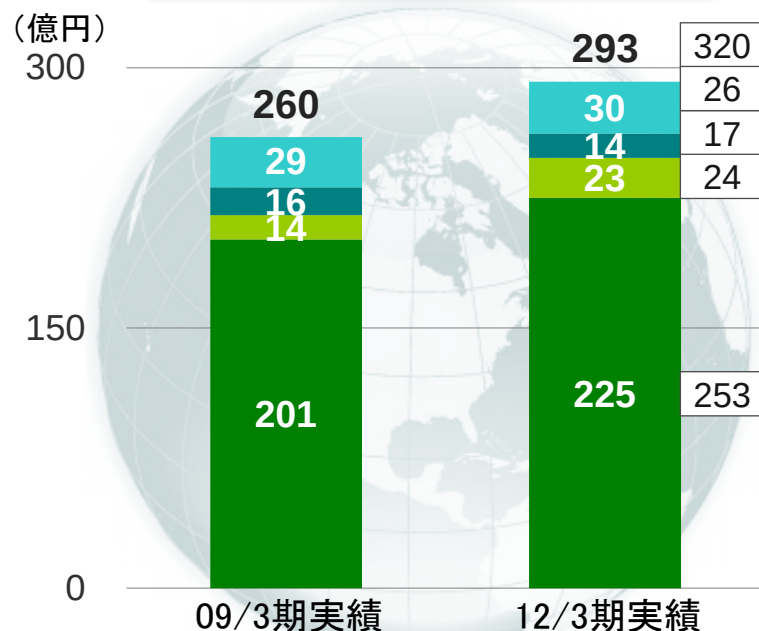
生産性向上・環境負荷低減など顧客の課題解決提案が定着し、安定した収益の確保に貢献した。

【4】 成果と課題②「グローバル事業の拡大」

海外地域別売上高

■ アジア
 ■ 北米
 ■ 欧州
 ■ その他

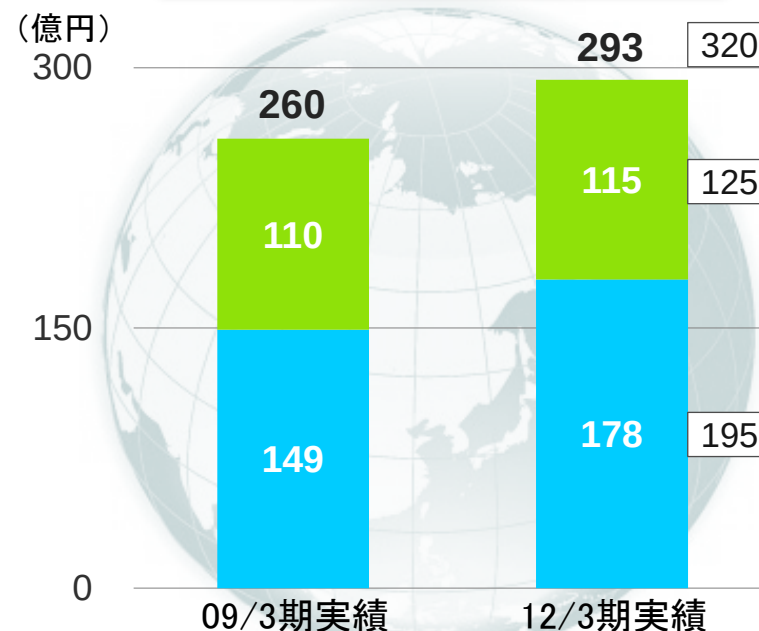
* □内は当初計画



海外事業別売上高

■ 水処理薬品事業
 ■ 水処理装置事業

* □内は当初計画



海外はアジアを中心に概ね順調に拡大したが、以下の課題が残った。

薬品: 各地域で伸長したが各国経済成長を超える成長は実現できていない。

装置: 中国・韓国で獲得した電子大型案件を、メンテナンスなどにつなげる必要がある。

【5】 実施施策「グローバル事業の拡大」



中国・韓国拠点の人員強化や、ブラジル新工場建設を実施（海外事業会社人員：3年間で約100人増強）

【6】 成果「新たな事業領域の創出・拡大」

電解硫酸製造装置



グリーンサルファシッドKD®

■ 顧客の課題

半導体製造プロセスにおいて生産性向上と環境負荷低減・コスト削減を同時に実現したい

■ 解決策

レジスト剥離工程向けにダイヤモンド電極を用いた電解硫酸製造装置



■ 結果

- [1] 過酸化水素水の使用量をゼロに
- [2] 硫酸を循環使用することで、使用量を従来比で約1/10に削減
- [3] 安定したレジスト剥離効果を維持

電解硫酸製造装置を切り口に顧客の製造プロセスに参入できたことで、
韓国半導体メーカーから大型受注を獲得

新中期経営計画「TA-14」の概要

- 【 1 】 基本テーマと3年後のあるべき姿
- 【 2 】 業績目標
- 【 3 】 セグメント別計画
- 【 4 】 重点施策①：海外事業の拡大「事業推進力の強化」
- 【 5 】 重点施策①：海外事業の拡大「基盤強化」
- 【 6 】 重点施策①：海外事業の拡大「地域別事業計画」
- 【 7 】 重点施策①：海外事業の拡大「中国事業計画」
- 【 8 】 重点施策②：国内事業での圧倒的信頼とシェア拡大
- 【 9 】 重点施策③：新商品・新事業のスピーディな創出
- 【10】 重点施策④：経営効率・資本効率の向上

【1】 基本テーマと3年後のあるべき姿

基本テーマ「実行と進化」

海外事業の
飛躍的拡大

国内事業での
圧倒的信頼と
シェア拡大

水・エネルギー・
食糧問題に
貢献する
新商品・新事業

国際競争に勝てる商品・技術・サービス

経営効率・資本効率の改善

リスクマネジメントをはじめとしたグループの経営管理機能の強化

【2】業績目標

(億円)

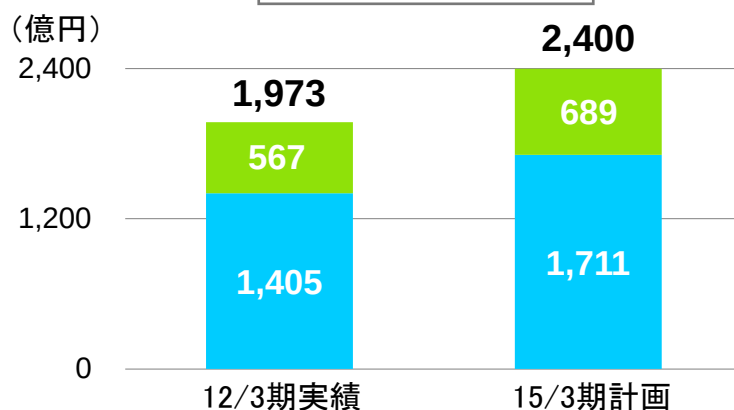
	2012/3期 実績	2015/3期 計画	3年間 平均成長率
受 注 高	1,973	2,400	+ 6.7%
売 上 高	1,938	2,350	+ 6.6%
営 業 利 益	294	360	+ 7.0%
経 常 利 益	304	365	+ 6.3%
当 期 純 利 益	165	220	+ 10.0%
海 外 売 上 高	293	644	+ 30.2%
海 外 売 上 高 比 率	15.1%	27.4%	—

- 海外売上を拡大させることによって、量的拡大を図る。
- 海外事業基盤投資を行いながら、収益性も維持する。

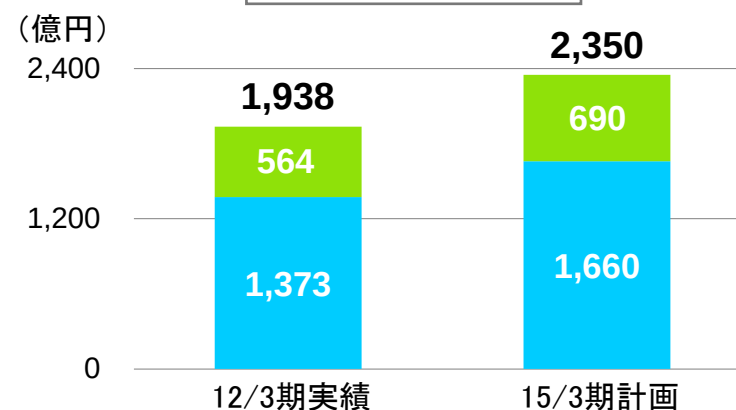
【3】セグメント別計画

■ 水処理薬品事業
 ■ 水処理装置事業
 ● 全社

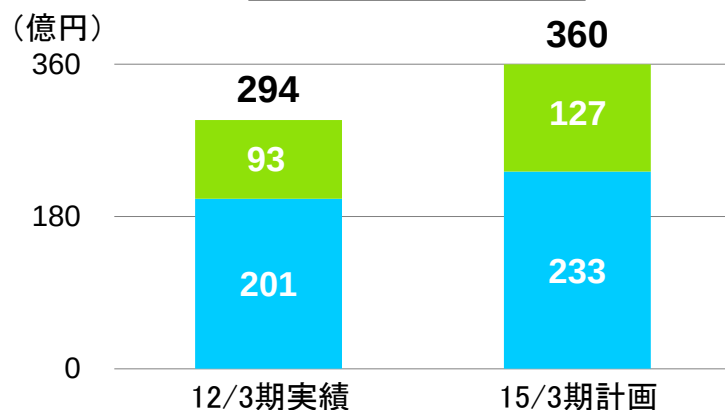
受 注 高



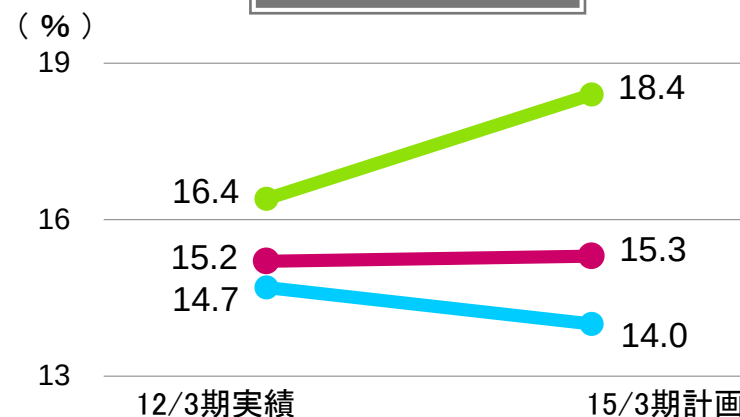
売 上 高



営 業 利 益

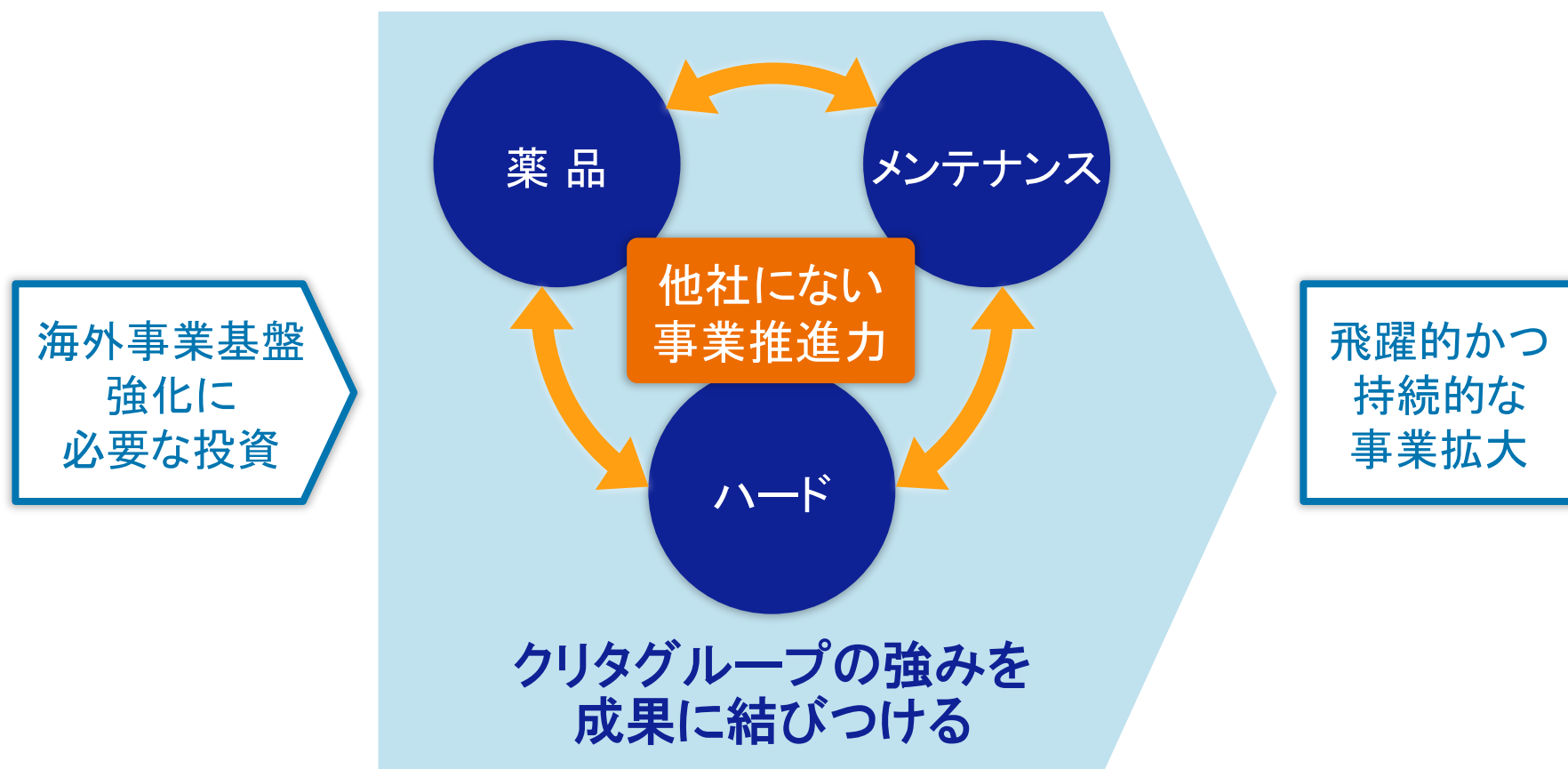


営 業 利 益 率



【4】重点施策①：海外事業の拡大「事業推進力の強化」

海外事業の飛躍的な拡大と持続的な収益の確保



【5】重点施策①：海外事業の拡大「基盤強化」

高度分析設備や樹脂・膜の供給体制整備の
ための現地投資・適用試験の現地化

海外の市場ニーズに合致した国際競争に勝てる
商品の開発、サービス体制の整備

現地人員増強・人材強化

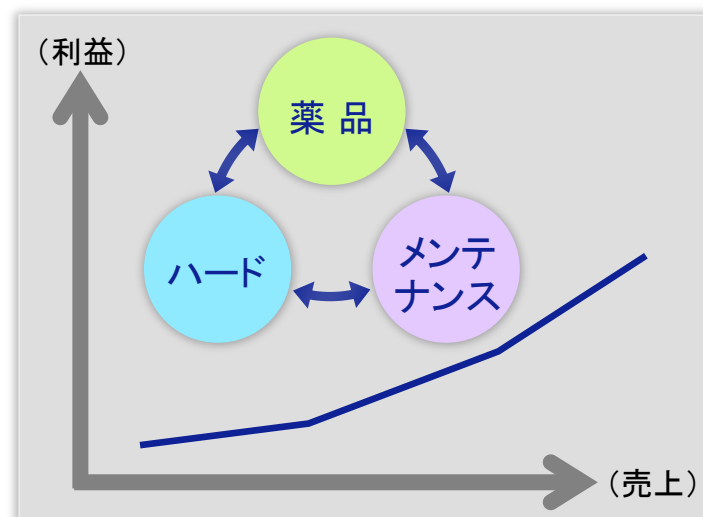
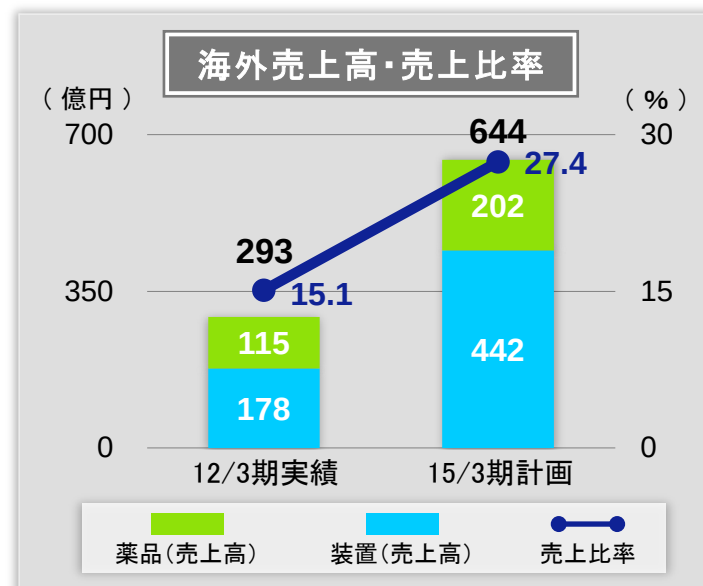
現地の顧客ニーズに対応し課題解決提案ができる
人材の確保・育成
(海外事業会社人員は3年間で約380人増強予定)

現地パートナーとの連携強化、
アライアンス・M&Aの実施

薬品：販売ネットワークや技術の獲得
装置：設計・施工・エンジニアリング能力の向上



海外において、ハードで規模を拡大し、
メンテナンスの獲得と薬品の需要拡大
(工場の入口から出口まで)に結びつけ、
持続的収益の拡大を図る

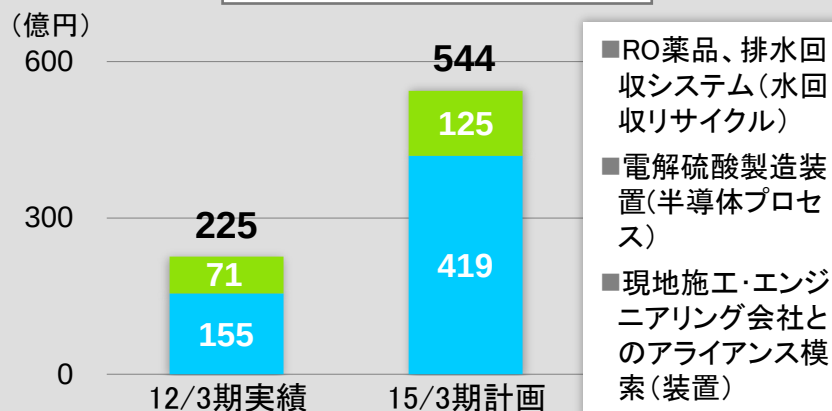


【6】 重点施策①：海外事業の拡大「地域別事業計画」

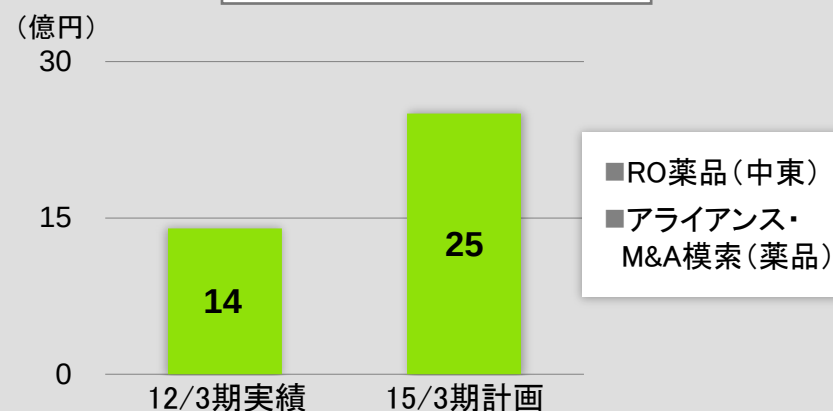
■ 水処理薬品事業

■ 水処理装置事業

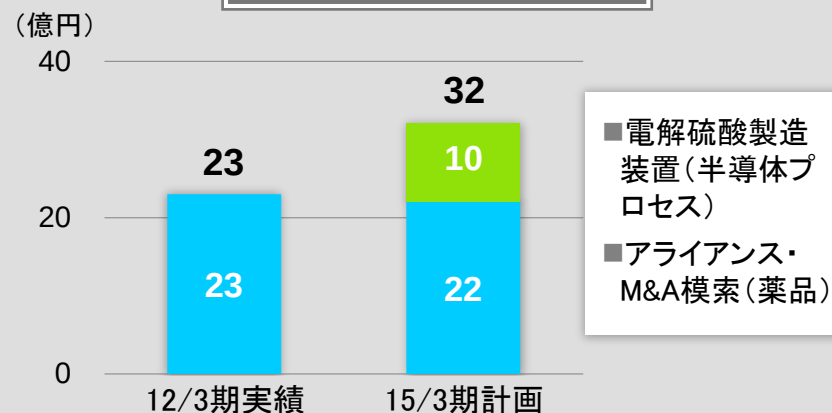
アジア（中国含む）



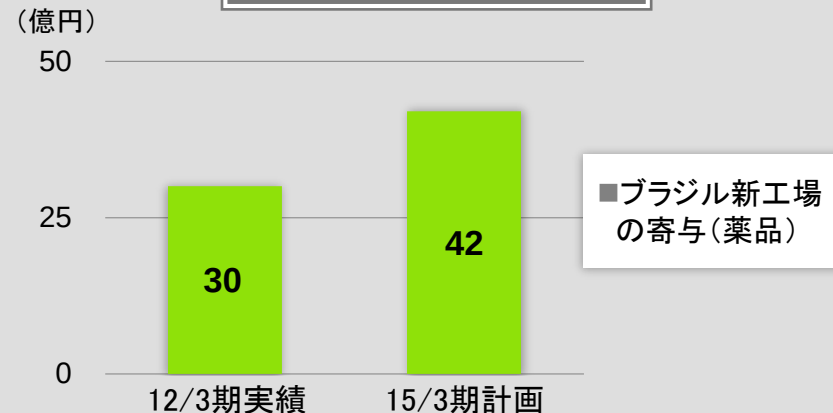
欧州



北米



その他（ブラジル等）



【7】 重点施策①：海外事業の拡大「中国事業計画」

中国統括役員の配置

クリタ大連(薬品)、クリタ蘇州(装置)、クリテック上海(メンテナンス)の3社が一体となった事業活動を強化

クリタ蘇州の増資

2012年6月に増資予定(4億円)

薬品

重点市場：石油、石油化学、内陸、海水淡水化
(都市ごみを含む)

拡販商品：冷却水薬品、RO薬品、飛灰用薬品

装置

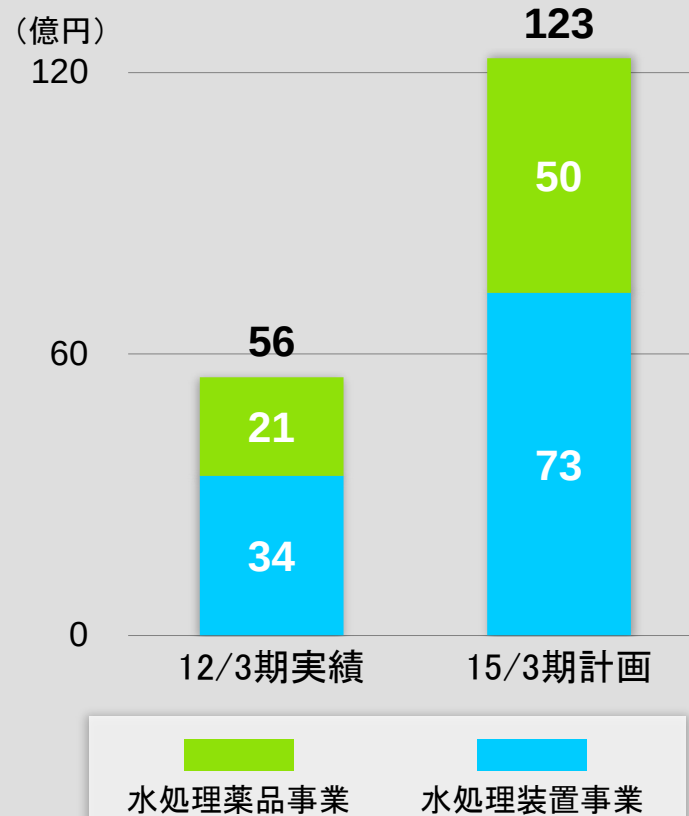
重点市場：電子(半導体・液晶など)、再生水市場
(下水再利用処理を含む)

拡販商品：超純水製造装置、排水回収システムなど



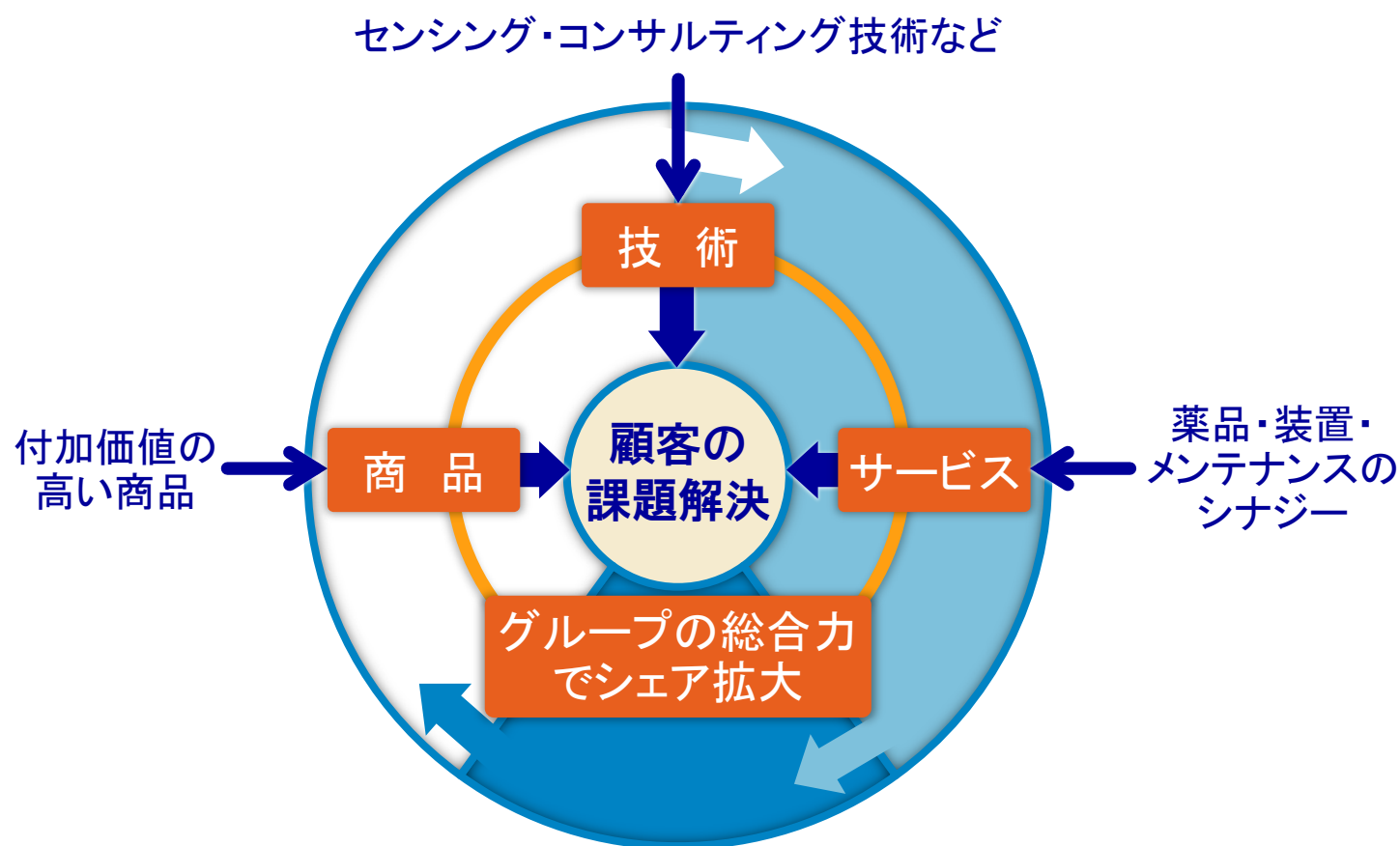
中国の水不足、規制強化を背景に
排水回収を切り口として市場を創出

中国売上高

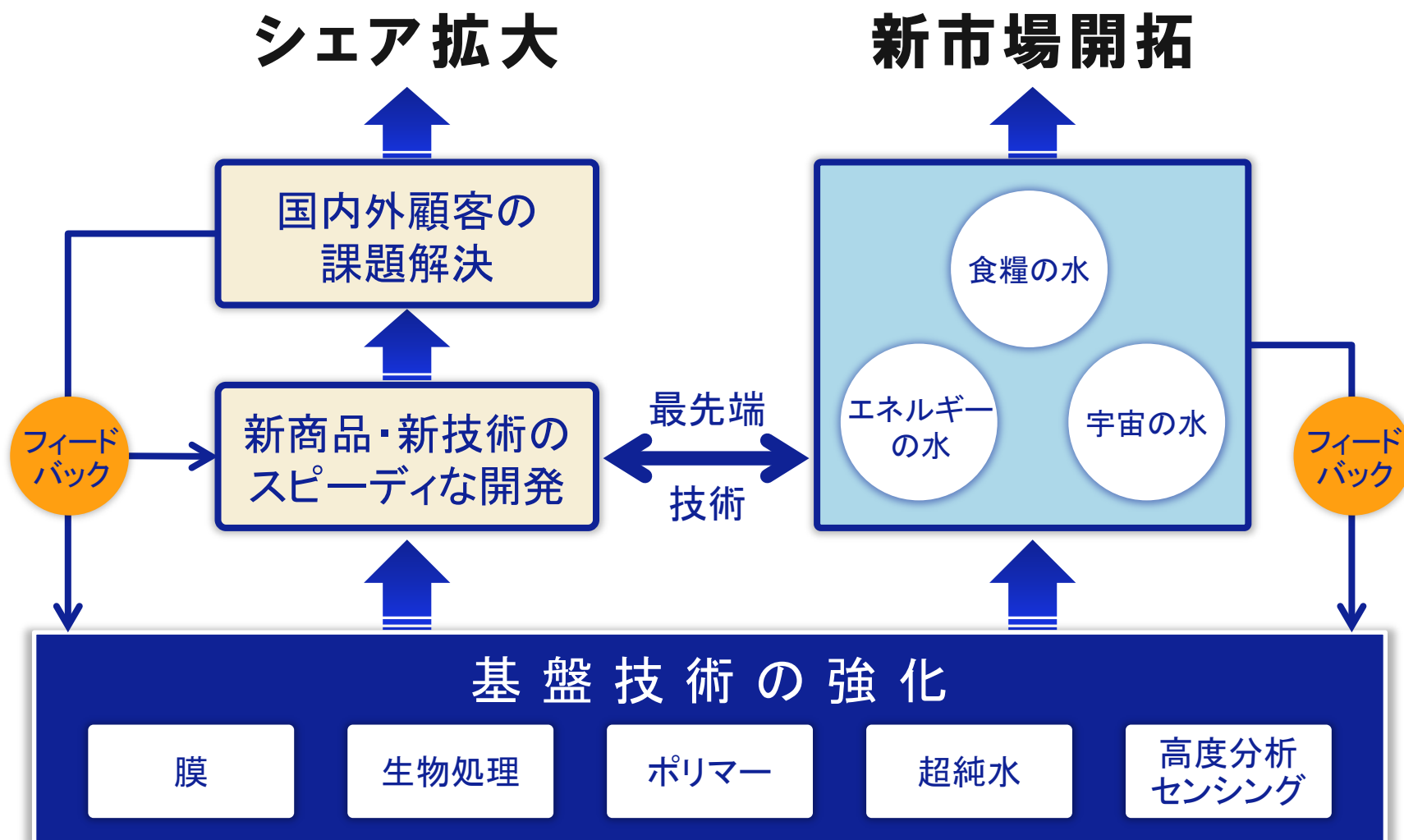


【8】 重点施策②：国内事業での圧倒的信頼とシェア拡大

国内事業のシェア拡大による収益基盤の強化



【9】 重点施策③：新商品・新事業のスピーディな創出



【10】 重点施策④：経営効率・資本効率の向上

グループ全体の経営効率・資本効率の向上

投下資本収益率の向上

キャッシュの使いみち

[1] 成長分野への投資

海外での事業基盤強化のための設備投資・研究開発・パートナーシップの強化・アライアンス・M&A

[2] 株主還元の充実

連続配当：配当性向は30%を目途

自社株買い：事業環境、投資機会、株価水準を考慮し柔軟かつ機動的に判断

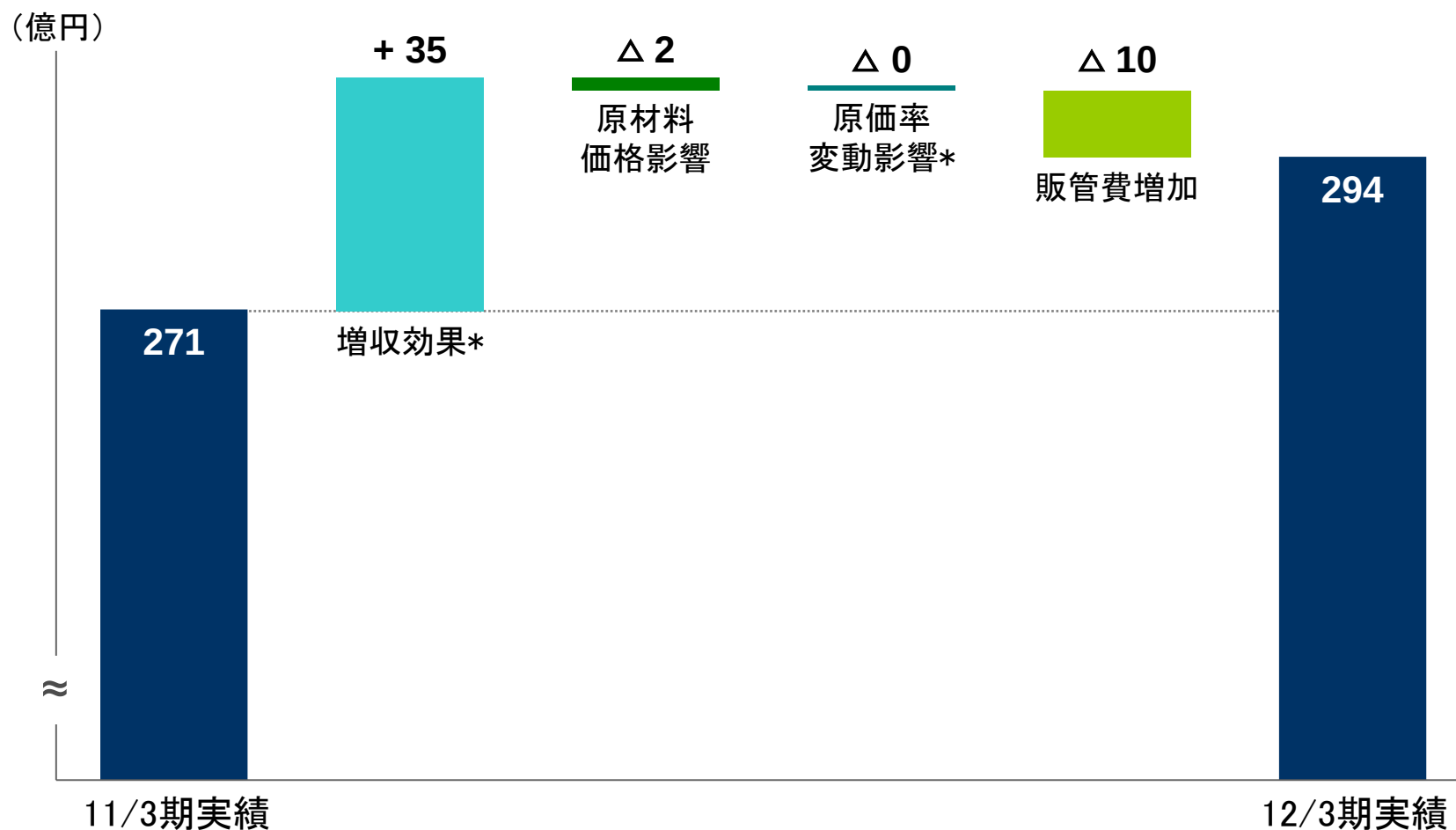
(億円)

	MP11実績 2010/3～ 2012/3期 累計	TA14計画 2013/3～ 2015/3期 累計
設備投資	207	130 ※
減価償却費	456	485
研究開発費	124	140
販管費	1,070	1,176

※ 2012年3月末時点で、投資が決定しているもののみ。

參考資料

2012年3月期 営業利益増減分析



* 增收効果と原価率変動影響は、売上総利益率を用いて算出しています。

栗田工業株式会社

■ U R L ■ <http://www.kurita.jp/>

■ M A I L ■ ir@kurita.co.jp

【 将来見通しに関する注記事項 】

本資料に掲載されている計画数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断したものであるため、リスクや不確実性を含んでおり、実際の業績はこれと異なる可能性があります。